幸　区

■人口　171,032 人　■世帯数　80,446 世帯
■面積　10.09 km^2　（令和４（2022）年３月１日現在）

幸区の木　「ハナミズキ」　幸区の花　「ヤマブキ」

1 幸区の概要

- 幸区は、市の南東部に位置し、市内で最も面積が小さく人口密度が２番目に高い区です。区域は、北から東に流れる多摩川を挟んで東京都大田区と、西から南に流れる矢上川と鶴見川を挟んで横浜市鶴見区、港北区と隣接しています。区の中央には JR 南武線と横須賀線が南北に通っており、JR 川崎、尻手、鹿島田、新川崎の４駅が立地するほか、国道１号と国道 409 号が交差するなど、交通利便性の高さが大きな特徴です。
- 区の名前は、明治 17（1884）年に明治天皇が観梅のため行幸したことに由来する「御幸村」の村名を継承し、「幸多い」地域になって欲しいという地域の人々の願いを込めて、昭和 47（1972）年の区制実施時に「幸区」と名付けられました。区役所庁舎は、昭和 50（1975）年に現在地に建てられ、40 年後の平成 27（2015）年には新たな庁舎に生まれ変わり、「地域コミュニティの拠点」、「地域防災の拠点」等として重要な役割を担っています。
- 幸区の区域は、かつて水田を中心とした農村地帯でしたが、明治期には工場の進出が始まり、戦後の高度経済成長期には公営住宅や社宅が多数建設され、人口が急増しました。昭和 40 年代以降、工場の移転が進み、跡地には大型共同住宅や大規模商業施設などが建設されました。
- 川崎駅西口周辺には世界的な音楽ホールであるミューザ川崎シンフォニーホールや東芝未来科学館、ラゾーナ川崎プラザ、高層集合住宅等が立地するほか、複合型街区「カワサキデルタ」など、市の新たな顔としてのまちづくりがさらに進んでいます。
- 新川崎・鹿島田駅周辺などでは、大規模マンション等の建設が引き続き進められており、今後も人口の増加が見込まれています。
- 都市化が進む中で、区の西部には、「加瀬山」の名前で親しまれ、地域の歴史にも触れられる自然の中に夢見ヶ崎公園が立地し、地域住民の憩いの場となっています。

幸区の主な地域資源・魅力など

新川崎・鹿島田駅周辺

御幸公園の梅

加瀬山（夢見ヶ崎公園）

川崎駅西口周辺

2 まちづくりの方向性

「しあわせあふれるまち さいわい」

- 幸区は、緑の中で動植物とのふれあいや歴史を感じることができる加瀬山や、うるおいある水辺の多摩川などの「自然空間」と、ミューザ川崎シンフォニーホールをはじめとした文化・芸術施設や商業・産業などが集積し活気のある「都市空間」が調和したまちです。
- 新たな区民も、これまで暮らしてきた区民も、誰もが地域のつながりや支え合いとともに、魅力あふれる多彩な地域の資源を大切にしながら、地域への愛着や誇りをさらに高め、やすらぎと幸せを実感することができるまちづくりを進めます。

3 これまでの主な取組状況

●地域資源を活かしたまちづくりの推進

区内の自然や、文化・芸術・歴史などの地域資源を活かしながら、区民の地域への愛着と誇りを育んでいくため、かつて梅林の名所であった御幸公園での賑わいと集いの場を育む取組、ミューザ川崎シンフォニーホールなど、身近な場所で音楽に親しめる環境づくりといったこれまでの取組に加え、鉄道ビュースポットや絵本作家かこさとしさんゆかりの地といった新たな区の魅力の発信、新たなスポーツとして脚光をあびるｅスポーツの活用など、区民や市民活動団体、企業などのさまざまな主体と協働・連携し、賑わいと彩り豊かな、魅力あるまちづくりを進めています。

鉄道ビュースポット

かこさとしさん紹介パネル

●健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進

地域住民が住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるよう、町内会・自治会を中心に地域特性に応じた地域住民主体のみまもりのネットワークづくりを進めています。また、大学等の多様な主体と連携して地域での自助・互助の活動を広げる取組を進めています。

●安心して子育てできるまちづくりの推進

子育て家庭のニーズが多様化している現状を踏まえ、個々の家庭の状況に応じたきめ細かな相談・支援、子育てに関わる方たちが必要としている情報の発信、地域資源とのつながりをつくる企画の実施、区民同士の情報共有の場の提供など、さまざまな取組により地域全体で子育て家庭を支えるまちづくりを進めています。

●地域コミュニティ活性化の推進

町内会・自治会への加入促進等を推進するとともに、大規模マンション建設地域における自治会組織の設立を促し、自治会と既存町内会等との連携の推進を図っています。また、多様な区民が参加・交流する場づくりや、地域活動団体への支援など、ソーシャルデザインセンターとも連携しながら、地域コミュニティの活性化に向けた取組を推進しています。

●安全で安心に暮らせるまちづくりの推進

自主防災組織等と連携した地域住民が主体となった実践的な訓練の実施や、区内に立地する企業や隣接区との防災に関する連携の強化、発災時に地域住民や企業、関係団体・機関、行政等が、それぞれの役割を果たし、迅速かつ的確な対応ができる体制づくりにより、地域の特性を踏まえた地域防災力の向上を図っています。また、自転車事故防止に向けて、幅広い世代に対して交通安全意識の向上を図るため、交通安全教室や街頭キャンペーンなどを通じた啓発活動、自転車通行環境の整備など、ソフト・ハード面の取組を推進しています。

4 現状と課題

●自然や文化などが調和し、魅力ある地域資源がたくさんあります。

- 貴重な自然が残る加瀬山には、市内唯一の動物園のある「夢見ヶ崎公園」があります。また、「御幸公園」や多摩川など、区民に親しまれる憩いとやすらぎの空間があります。
- 世界的な音楽ホール「ミューザ川崎シンフォニーホール」や、多くの来場者で賑わう「ラゾーナ川崎プラザ」、ビジネス・宿泊・商業機能の大規模複合型街区「カワサキデルタ」などが集まる川崎駅西口周辺、最先端分野の研究開発拠点「新川崎・創造のもり」など、魅力あふれる地域資源があり、こうした資源を活かしながら、区民の地域への愛着と誇りをさらに高めていくことが求められています。

夢見ヶ崎公園（夢見ヶ崎動物公園）

川崎駅西口周辺

●高齢化率が 21%を超えており、50%を超える地区もあります。

- 区全体の高齢化率は 21.5%（令和 3（2021）年 12 月末現在）と、全市平均の 20.1%を上回り、超高齢社会の水準である高齢化率 21%を超えています。また、町丁ごとに見ると、50%を超える地区もあります。
- ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯も増加を続けており、要介護高齢者や認知症高齢者も増えています。こうした支援を必要とする高齢者などが増加する中、地域のつながりが強い幸区の特徴を活かした地域包括ケアシステムの構築に向け、身近な地域で多様な主体が連携した、自助・互助の取組が求められています。

65 歳以上人口比率（上位 5 町丁）
（令和 3(2021)年 12 月現在）

	町丁名	割　合
1	河原町	53.8%
2	小倉	35.3%
3	東古市場	30.8%
4	古市場	29.6%
5	古市場２丁目	28.8%
	（幸区平均）	21.5%
	（全市平均）	20.1%

●子育て家庭が増加し、ニーズも多様化しています。

- 大規模マンションへの子育て世帯の転入等に伴い、区内の子どもの人口が増加しています。
- 共働き家庭の保育ニーズの高まりや、核家族化による子育てへの不安、孤立感への対応など、多様化する子育て家庭のニーズに対し、子育て情報の発信や、地域でのつながりを高めていく取組などが求められています。

15 歳未満人口比率（上位 5 町丁）
（令和 3(2021)年 12 月現在）

	町丁名	割　合
1	新小倉	30.0%
2	新川崎	26.2%
3	塚越１丁目	22.5%
4	戸手４丁目	19.3%
5	北加瀬２丁目	18.6%
	（幸区平均）	13.5%
	（全市平均）	12.5%

●大規模マンションの建設などにより、新たな区民が増えています。

- 新川崎・鹿島田駅周辺など、大規模マンションの建設が進む地域では、新たに転入した区民と以前から暮らしている区民との交流や、地域でともに支え合う意識の醸成などが求められています。
- 区内の町内会・自治会への加入率は 65.2%（令和２（2020）年４月１日現在）と全区で最も高い水準にあるものの、近年、低下の傾向にあり、役員の高齢化や後継者不足などの課題も抱えています。
- 身近な課題を地域で解決するためには、住民相互の連携による自主的で活力に満ちた地域コミュニティの実現が必要であり、町内会・自治会や市民活動団体の取組への支援や、多様な主体の連携により、市民創発によって課題解決をする区域レベルの「新たなしくみ」が求められています。

新川崎・鹿島田駅周辺のマンション

●地域防災力の強化など、安全・安心への区民の意識が高まっています。

- 令和２（2020）年度区民アンケート調査において、10 年後のめざすべきまちとして、「地震や大雨などの災害に強いまち」や「防犯・交通安全など安全・安心な暮らしのできるまち」が上位に挙げられています。
- 令和元年東日本台風や、新たな都市型水害などにより、区民の地域防災力強化への意識が一層高まっています。さらに、新型コロナウイルス感染症流行の経験を踏まえ、事業の実施にあたっては、必要な感染症対策が求められています。

避難所開設訓練

5 計画期間の主な取組

地域資源を活かしたまちづくりの推進

主な取組の方向性

- 区内の自然や文化・芸術・歴史などの地域資源を活かした地域への愛着と誇りを育む取組の実施
- 区民や市民活動団体、企業などのさまざまな主体と協働・連携した、賑わいと彩り豊かな、魅力あるまちづくりの推進

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
御幸公園梅香事業 区名の由来にもなっている御幸公園の梅林を活用し、市制100周年に向け、梅の植樹や公園の多目的利用による区の魅力向上・情報発信を行うとともに、歴史文化の伝承などに関する取組を推進します。また、緑を通じて地域住民や学校・企業などさまざまな主体との連携・協働を推進し、賑わいと彩り豊かな集いの場を創造するとともに持続可能な施設運営のしくみの構築をめざします。	**●地域住民や学校等と連携した取組の推進** ○地域住民や学校等との協働による御幸公園の維持管理等 ・地域住民との協働による梅林の復活に向けた植樹の実施等の樹勢回復 ・御幸公園梅香事業推進会議 ・寄附・募金を活用した梅の植樹・維持管理	・地域住民・市民ボランティア・企業との協働による梅林の維持管理に係るしくみの構築 ・御幸公園梅香事業推進会議の開催	・寄付・募金を活用した梅の維持管理	・市民ボランティア・企業との協働による梅林の維持管理の実施	・御幸公園梅香事業推進会議による総括
	○御幸公園の魅力発信や御幸公園を利用したコミュニティの活性化 ・高校生の観梅会への協力など、学校等と連携した公園の魅力発信 ・公園の利活用の促進や隣接施設との連携による地域コミュニティ活性化	・区制50周年のイベントでの学校等と連携した公園の魅力発信 ・球場開放等、公園施設の新たな利活用やウォーキングコース・健康器具を活用した地域コミュニティの活性化	・市制100周年や緑化フェアに向けた、学校等と連携した公園の魅力発信	・市制100周年や緑化フェアの開催を踏まえた、学校等と連携した公園の魅力発信	・広報への協力、観梅会への参加など、学校等と連携した公園の魅力発信
 地元高校生との協働による梅の摘果	**●御幸公園を中心とした区の魅力の発信** ○観梅会の開催を通じた魅力発信 ・観梅会の開催	・区制50周年記念観梅会の開催	・観梅会の開催	・市制100周年記念観梅会の開催	・市民協働型観梅会の検討、開催
	○御幸公園の梅林等の資源を活用した、各種イベント等を通じた魅力発信 ・梅をテーマとした写真展や川柳コンクールの開催 ・歴史文化の伝承に関する取組の推進	・区制50周年記念写真展や川柳コンクールの開催 継続実施	・写真展や川柳コンクールの開催	・市制100周年記念写真展や川柳コンクールの開催	・梅をテーマとした写真展や川柳コンクールの開催
 御幸公園の梅					

幸 区

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
花と緑のさいわい事業 区内の緑化推進と区民の緑化意識の高揚を図るとともに、区民同士の交流を促進するため、花と緑のうるおいのあるまちづくりを推進します。		**●区内の緑化推進** ○花苗等の配布を通じた緑化活動団体の支援			
	・区内で緑化活動を行う団体への花苗等の提供	継続実施 →			
		●地域住民や学校と連携した公共花壇の花植え活動の推進			
	・緑化活動団体や学校等と連携した公共花壇の維持管理の取組の推進	継続実施 →			
	・大師堀公共花壇・夢見ヶ崎公園花壇等の花植え	継続実施 →			
	・庁舎前花壇の花植え及び維持管理	・区制50周年を契機とした区役所敷地内への新たな花壇整備	・庁舎前花壇の花植え及び維持管理 →		
さいわい音楽推進事業 ミューザ川崎シンフォニーホールなどの地域資源を活用し、区民が身近な場所で良質な生の音楽に親しめる環境をつくり、音楽を通じて多様な区民の多彩な文化、芸術活動が創出され、区民が地域に愛着と誇りを持てる、活力と魅力あるまちづくりを推進します。		**●区民が身近な場所で気軽に音楽を楽しめる取組の推進** ○区民が身近な場所で気軽に良質な生の音楽を楽しめるイベントの開催			
		・「夢こんさぁと」の開催 →	・「夢こんさぁと」200回記念コンサートの開催	・「夢こんさぁと」の開催 →	
		○川崎市にゆかりのある音楽活動団体に世界的な音楽ホールでの演奏の機会を提供するコンサート			
	・「さいわいハナミズキコンサート」の開催	継続実施 →			
		●「心のバリアフリー」を実現する取組の推進 ○多様な出演者を通じて心のバリアフリーを推進するコンサートの開催			
	・「はぴ☆こん～誰もが幸せになるコンサート」の開催	継続実施 →			

さいわい花クラブ、下平間小学校による大師堀公共花壇の花植え

はぴ☆こん～誰もが幸せになるコンサート　の様子

「夢こんさぁと」の様子

健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進

主な取組の方向性

●健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進

●住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるよう、住民主体の自助・互助の取組支援の推進

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
地域包括ケアシステム推進事業 区民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域を実現するため、町内会・自治会を中心に地域住民が主体となり、人と地域のつながりが活発で、見守り支え合う地域づくりを進めます。	**●多世代が互いに見守り支え合う地域づくりの推進** ○町内会・自治会などの小地域単位でご近所支え愛事業や地域特性を活かした自助・互助活動の支援				
	・ご近所支え愛事業による自助・互助を深める活動支援の実施 実施地域数：30地域	・ご近所支え愛事業など町内会・自治会や集合住宅等の単位で自助・互助を深める活動支援の実施 実施地域数：32地域	実施地域数：34地域	実施地域数：37地域	実施地域数：40地域
	○多様な主体と連携を行うことによる、人と地域のつながりが活発で、見守り、支え合うことのできる地域づくりの推進				
	・多様な主体との連携による地域づくりの推進	・ソーシャルデザインセンター、企業、大学等の多様な主体と連携した取組の推進 連携企業・団体数：31企業・団体以上	連携企業・団体数：31企業・団体以上	連携企業・団体数：31企業・団体以上	連携企業・団体数：31企業・団体以上
	●「自助」「互助」の意識の醸成による地域課題解決に向けた取組の推進 ○講演会や講座の開催を通じた、地域の意識向上の支援				
	・地域包括ケア推進に関する講演会・講座の開催 開催回数：1回	継続実施 開催回数：１回	開催回数：１回	開催回数：１回	開催回数：１回
	○多様な人が地域で共に暮らすことへの意識向上の取組				
	・多様な人が地域で共に暮らすことへの理解を深め、多世代が互いに見守り、支え合う取組の実施	・認知症の方や障害のある方など多様な人が地域で共に見守り、支え合う取組の推進			
健康づくり推進事業 高齢化が進む中で、地域交流や支え合いの促進に向けて、地域活動の担い手として期待される世代に対し、自助・互助の取組や社会参加、健康づくりの普及啓発を推進します。	**●主体的な健康づくり活動に向けた普及啓発の推進** ○自助・互助の取組として発足している住民主体の健康づくりグループ等への支援				
	・講演会等を通じた健康づくりグループの活動支援	・講演会等の開催を通じた健康づくりグループ等の活動継続に向けた支援の実施			
	○ライフサイクルに応じた健康づくり等に関する情報発信と普及啓発の推進				
	・リーフレットを活用した健康づくり等に関する情報発信	・「50代からのさいわい健幸Book」の作成と講演会等普及啓発の実施	・リーフレットを活用した健康づくり等に関する情報発信と講演会等普及啓発の実施		

見守り・支え合う地域づくりの取組
（ご近所支え愛事業の部会）

地域での健康づくり活動

安心して子育てできるまちづくりの推進

主な取組の方向性

●地域全体で子育て家庭を支えるしくみづくりの推進

●子育て家庭のニーズや個々の家庭の状況に応じたきめ細かな相談や支援の実施

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
総合的なこども支援ネットワーク事業 区内の子ども・子育て支援団体同士の情報共有と連携強化を図るとともに、情報発信や講演会、「みんなで子育てフェアさいわい」などの事業を通じて、地域で子育てを支援する環境づくりを進めます。	**●子ども・子育て支援関係団体同士の情報共有・連携強化** ○こども総合支援ネットワーク会議の開催によるネットワークの強化 新たな活動へのきっかけづくりと、子育て団体や子育てサークル同士の情報共有・連携推進会議・交流会開催	継続実施 →			
	○情報誌（こども情報ネット）さいわいの発行を通じた、学齢児童等の地域への関心の増進 ・こども情報ネットさいわいの発行 発行回数：３回	継続実施 →			
		発行回数：３回	発行回数：３回	発行回数：３回	発行回数：３回
	●多様な主体が連携して地域で子育てを支援する環境づくり ○子育て家庭に必要な情報を伝える「こども・子育て講演会」の開催 ・「こども・子育て講演会」の開催	継続実施 →			
	○「みんなで子育てフェアさいわい」を地域の子育て支援団体や企業等と連携して開催 ・子育て世帯が地域を知り、つながるきっかけをつくる「みんなで子育てフェアさいわい」の開催 開催回数：１回	継続実施 →			
		開催回数：１回	開催回数：１回	開催回数：１回	開催回数：１回

こども総合支援ネットワーク会議

みんなで子育てフェアさいわい
（スタンプラリー）

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
こども・子育て支援事業 子育て関連情報の提供、公園を活用した子育て交流の場の提供、中高生向け地域ボランティア等各種事業を通じ、区民の子ども・子育て支援に取り組みます。	**●子ども・子育て情報の収集及び発信（おこさまっぷさいわいの発行）**				
発行数：6,800部 ・改訂に向けた検討	・「おこさまっぷさいわい」（改訂版）の発行を通じた親子の外出と地域のつながりの創出 →				
●公園等の活用による子育て世帯や子ども同士がつながりをつくる環境づくり					
・区内公園等を活用した乳幼児向け外遊びの交流の場づくり及び学齢児向けのプレーパークの実施	継続実施 →				
実施公園数：5か所	実施公園数：５か所	実施公園数：５か所	実施公園数：５か所	実施公園数：５か所	
●中高生向け地域活動ボランティアによる若者の地域へのつながりの推進					
・中高生が地域への愛着を持ち、自身の幸福度向上につながる契機としてのボランティア活動への支援	・中高生向けの地域活動ボランティア「さいわいはっぴーボランティア（はぴ☆ボラ）」の実施 参加者数：50人 →				
		参加者数：60人	参加者数：70人	参加者数：80人以上	

さいわいはっぴーボランティア（はぴ☆ボラ）

おこさまっぷさいわい

地域コミュニティ活性化の推進

主な取組の方向性

- **大規模マンション建設地域における自治会組織の設立支援や町内会・自治会への加入促進の実施**
- **「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」等に基づく、多様な区民が参加・交流する場づくりへの支援などの、地域コミュニティの活性化に向けた取組の推進**

幸 区

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
地域コミュニティ推進事業 地域社会において重要な役割を担う町内会・自治会などの地域団体が安定的に地域活動に取り組み、暮らしやすい地域社会の構築に寄与する取組を推進します。		**●町内会・自治会活動の活性化に向けた取組の推進**			
		○さまざまな媒体を活用した町内会・自治会への加入促進の取組の実施			
		・ホームページ等による情報発信や、区独自のチラシの作成・配布	継続実施 →		
		○多様な主体との連携による活性化支援の取組の実施			
		・ソーシャルデザインセンターとの連携による地域団体、町内会・自治会の活性化支援	継続実施 →		
		・他団体との交流イベント開催による地域活性化	継続実施 →		
		○町内会・自治会役員のスキルアップ支援の実施			
		・活性化講座による町内会・自治会役員のスキルアップ支援	継続実施 →		
		○支援制度の周知や活用支援による自治会等への加入促進取組の実施			
		・補助金制度の活用の促進や申請補助による町内会・自治会の事業活動支援	継続実施 →		
		●大規模マンションの建設増に伴う町内会・自治会組織設立のための支援等の検討・推進			
		・大規模マンションが建設された際の自治会の設立支援	継続実施 →		
スポーツ推進事業 地域で活動するスポーツ関係団体等の多様な主体と連携して地域の交流を促進し、誰もがスポーツに親しめる地域づくりを進めます。		**●多様な主体の連携による地域スポーツの推進**			
		・気軽にスポーツに親しめる機会の充実	継続実施 →		
		・地域の関係団体等と連携したパラスポーツの大会や講習会等の実施	継続実施 →		
		●地域主体のスポーツ活動の活性化に向けた取組の推進			
		・地域のスポーツ大会における区の協賛等の実施	継続実施 →		

町内会・自治会向けの活性化講座

さいわいソーシャルデザインセンター（まちのおと）

小学校でのボッチャ体験会

安全で安心に暮らせるまちづくりの推進

主な取組の方向性

- **自主防災組織等と連携した訓練の実施や、区内に立地する企業や隣接区との連携強化による地域防災力の向上**
- **自転車事故等の防止など、交通安全普及に向けた啓発活動の実施**

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
幸区災害対策推進事業 訓練の運営支援や講座等の開催による自主防災組織・避難所運営会議の活性化、地域住民や企業、関係団体・機関等との連携による実践的な総合防災訓練の実施、区本部・避難所の防災資器材の充実など、区内の防災基盤整備の取組を進めます。					
●避難所開設・運営訓練の運営支援の実施 ・訓練の運営支援等による、地域の防災力の強化		継続実施 →	→	→	→
●自主防災組織を中心とした地域の防災力強化 ・「幸区防災講演会」の開催 ・幸区防災マップの発行		継続実施 →	→	→	→
●防災資器材の配備、感染症対策物資の整備 ・防災用資器材の購入・配備		継続実施 →	→	→	→
交通安全普及啓発事業 区内での自転車関連事故等の現状を踏まえて、幅広い世代に対して交通安全意識の向上を図るため、交通安全教室などを通じて、交通安全知識の習得などを目的とした啓発活動を行います。					
●小学校等での交通安全教室の実施 ・警察及び関係団体と連携し、各種交通安全教室（スケアードストレート方式等）の実施		継続実施 →	→	→	→
●警察及び関係団体と連携したキャンペーン等の啓発活動の実施 ・交通安全期間中及び各強化月間における啓発活動の実施		継続実施 →	→	→	→
●交通安全実地指導の実施 ・警察等と連携した実地指導の実施		継続実施 →	→	→	→
・各種団体からの要望受付の機会確保		継続実施 →	→	→	→

避難所開設訓練

帰宅困難者受け入れ訓練

登下校時の見守り活動

区における地域の課題解決に向けたその他の取組

区名	取組の柱	事業名	概要	現状	事業内容・目標			
				令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
幸区								
	地域資源を活かしたまちづくりの推進							
		さいわいものづくり体験事業	新川崎・創造のもりなど、研究開発施設等が集積した幸区の特色を活かした子ども向け科学体験イベントを実施します。	●科学体験イベントの実施				
		地域の魅力発信事業	貴重な地域資源である夢見ヶ崎公園や鉄道ビュースポット、絵本作家かこさとしさんゆかりの地といった区の魅力について、その魅力を高めるとともに区民に発信します。	●夢見ヶ崎公園を活用した魅力発信の推進 ●鉄道ビュースポットやかこさとしさんゆかりの地といった区の魅力発信				
		地域資源を活かしたまちづくり事業	日吉地区で活動するさまざまな団体のネットワークにより、地域固有の資源を活用した身近なまちづくりを進めます。	●日吉のタカラモノ活用事業の実施				
		さいわい・はじめようエコ事業	子ども向けイベントの開催や環境啓発パネルの活用など、多様な年齢に即した意識啓発活動を推進します。	●子ども向け環境啓発イベントの実施				
		さいわいガイドマップ発行事業	ガイドマップの発行を通じて、転入者等へ区民生活に必要な情報を提供し、地域理解の促進を図ります。	●「さいわいガイドマップ」の作成・配布				
	健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進							
		地域の保健福祉情報発信事業	区における地域包括ケアシステムや保健福祉に関する情報を効果的に区民に届け、区民の関心と理解を深めます。	●保健福祉に関する効果的な情報発信				
		さいわい動物愛護推進事業	動物愛護思想の普及啓発を行うことにより、人と動物の共生を図ります。	●動物愛護思想の普及				
	安心して子育てできるまちづくりの推進							
		保育所等活用事業	民間保育所を含む区内の保育所等を活用して、地域への子育て支援や、子育て支援者の育成等を進めます。	●区内保育所等における地域子ども・子育て支援事業の実施				
		幸区こども学習サポート事業	関係団体とボランティアが連携して、外国につながる小・中学生への学習支援活動と居場所づくりを行います。	●外国につながる小・中学生への学習支援と居場所づくり				
		児童虐待防止・こども相談支援事業	関係機関との会議や研修会、講座の開催を通じて、要保護児童の早期把握に努めるとともに、孤立感や不安感なく安心して子育てができる地域づくりを進めます。	●要保護児童対策地域協議会幸区実務者会議等の実施 ●子ども・子育てに関する相談と支援の実施				
		幸区待機児童対策事業	多様な保育事業に関する情報提供を行い、保育の選択肢を広げ、利用者に対するきめ細やかな相談・支援を実施して待機児童の解消を図ります。	●多様な保育事業に関する情報提供の実施				

区名	取組の柱	事業名	概要	現状	事業内容・目標			
				令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
	地域コミュニティ活性化の推進							
		市民活動等支援事業	市民活動コーナーの運営や市民活動団体同士の交流を促進し、区内の市民活動と区民の主体的な取組を促進します。	●幸区市民活動コーナーを利用者の会と協働で運営				
		幸区多文化共生推進事業	外国人市民の生活に必要な情報の提供や多文化フェスタ等の開催を通じて市民同士の相互理解を深め、多文化共生意識を高めます。	●多文化共生の理解や関心を深めるための事業の実施				
		市民館コミュニティ推進事業	さまざまな区民が参加し交流するコミュニティ推進事業を通じて、区民同士の交流と、地域活動をはじめるきっかけづくりを行います。	●コミュニティ推進事業を通じた区民同士の交流促進				
		区民祭開催経費	地域に密着した事業である幸区民祭の開催を支援し、新旧区民の交流と連帯を深め、地域コミュニティの活性化を進めます。	●「幸区民祭実行委員会」への経費補助を通じた区民祭の開催支援				
	安全で安心に暮らせるまちづくりの推進							
		地域防災活動推進事業	幸区災害対策協議会の運営等を通じて、地域住民や企業、関係団体・機関等の間で情報共有・課題検討などを行い、地域の防災活動に関する連携強化の取組を進めます。	●地域住民に加え、企業、関係団体・機関等からなる「幸区災害対策協議会」を中心とした防災対策の推進				
		安全・安心まちづくり普及啓発事業	街頭キャンペーンの開催、町内会等と連携した防犯パトロールの実施などを通じて、地域に根ざした啓発活動を進めます。	●地域の防犯意識の醸成 ●子どもの安全確保に向けた地域見守り活動の推進 ●啓発活動の実施				
	区役所サービス向上事業							
		区民に身近な区役所づくり推進事業	区役所窓口の利便性の向上や、満足度の高いサービスの提供を推進します。	●庁舎等の環境整備や職員研修、サービス向上委員会等の取組推進				
		さいわい区民アンケート事業	区政に対する区民の意識を多面的に調査し、今後の区政運営や地域課題の解決に向けた参考としていきます。	●区民アンケート調査の実施（隔年）				
	地域課題対応その他事業							
		幸区提案型協働推進事業	地域課題の解決に向け、公益性の高い事業を実施できる市民活動団体等から事業提案を募集し、行政と提案団体との協働により事業を推進します。	●事業の提案募集及び審査・決定 ●事業の実施 ●事業の評価				
		その他経費	幸区地域課題対応事業の効率的・効果的な推進を支えるため、必要となる事務・管理運営を行います。	●地域課題対応事業を支える事務等の実施				
	区の新たな課題即応事業							
		区の新たな課題即応事業	年度途中に新たに発生する課題に、適切かつ迅速に対応する事業を実施します。	●新たに発生する課題に対する、適切かつ迅速な対応				

幸区における特徴あるまちづくりの取組

幸区で展開されている市民生活を支える事業のうち、区計画に記載されている事業（地域課題対応事業）以外の事業に関連した、区の特徴的な取組を紹介します。

●夢見ヶ崎動物公園にぎわい創出事業

夢見ヶ崎動物公園は、昭和 49（1974）年に開園し、子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめる市内唯一の動物公園として、多くの市民の皆様に利用されてきました。今後も、適切な飼育管理を行うとともに、サポーター制度の充実を図るなど、多様な主体との連携により、動物とのふれあいや環境学習の場、さらには人々の交流を生む場として親しまれる動物公園をめざし、公園や地域の賑わい創出に向けた取組を推進します。

【政策体系別計画 P 327：施策 3-3-2　夢見ヶ崎動物公園にぎわい創出事業】

【幸区役所における関連した取組】

- 夢見ヶ崎周辺の魅力向上を図るため、動物公園周辺で活動する方たちや地域の方たちが参加する「ゆめみらい交流会」を開催し、新たな「つながり」の構築とともに、意見交換等を通じ、さまざまな主体との連携による賑わいの創出に向けた取組を推進します。
- NPO 法人はたらくらすと協働し、夢見ヶ崎動物公園（加瀬山）を舞台にした絵本「ゆめみがさきのふしぎにゃトンネル」を制作しました。絵本を通じて、夢見ヶ崎動物公園（加瀬山）の歴史を学ぶことができ、幸図書館及び日吉分館で貸出しを行っています。

●新川崎・創造のもり推進事業

「新川崎・創造のもり」では、慶應義塾大学、早稲田大学、東京工業大学、東京大学が協力し設立した研究教育拠点と連携し、産学連携による研究開発を推進しているほか、新産業創出や新製品開発を促進するため、「産学交流・研究開発施設（AIRBIC）」を拠点としてオープンイノベーションを推進しています。第 3 期実施計画においても、引き続き取組を推進するとともに、新たに「かわさき新産業創造センター（KBIC）」への量子コンピューティングシステムの設置を契機とし、量子コンピューティング技術の普及や人材育成を推進するなど、オープンイノベーションの推進による研究開発への支援や、良好な研究環境の維持向上に向けた取組を推進します。

【政策体系別計画 P 366：施策 4-2-3　新川崎・創造のもり推進事業】

【幸区役所における関連した取組】

- 「新川崎・創造のもり」にある慶應義塾大学新川崎タウンキャンパスや KBIC と連携し、区内企業や市民活動団体の協力を得ながら、「科学とあそぶ幸せな一日」という科学体験イベントを開催し、科学技術関係機関やものづくり関連施設が集積した幸区の特色を活かして、青少年がものづくりの基礎となる科学技術を体験的に学べる機会の創出に向けた取組を推進します。

“それいいね”が広がるまちづくりに向けて

幸区で展開されている事業のうち、地域課題の解決に向けて、市民や団体等と協働・連携して行っている特徴的な取組を紹介します。

●若者の力を活かしたまちづくり

年少人口の割合が高く若者が多い特徴を持ち、区内に２つの市立高等学校と市立看護大学がある幸区。区ではこれからも、若者の意見を反映させたり、色々な事業を協働で行い、若者の力を活かしたまちづくりに取り組んでいきます。

幸探究授業　～高校生が区に課題解決策を提案～

- 幸高等学校では総合的な探究の時間の中で、「幸探究」と題して、区が提示した課題について、生徒自身が取材や調査・探究をし、課題の解決に向けた提言をしてくれており、これまでに区こどもページの改善やSNSを活用した若者への情報発信等が実現しました。
- 令和元（2019）年度に幸高等学校で行われた車座集会では、「ボール遊びがしたい」という小学生の想いを叶えるための意見交換を行い、３年間さまざまな検討を重ね、令和３（2021）年度に高校生が協力した小学校の校庭開放の取組を実現しました。

区役所で自分たちの探究の成果を提案する幸高等学校生徒

梅香事業　～高校生が御幸公園の梅園の魅力向上の取組に協力～

- 御幸公園内にある梅園の魅力発信のために、川崎総合科学高校の生徒たちが、「梅香カレンダー」の作成や「梅の接ぎ木の取組を紹介する動画」の作成、「観梅会のチラシ」のデザイン、「観梅会でのステージ演奏」などさまざまな面で協力してくれています。

御幸公園で、梅の木の紹介動画を撮影する川崎総合科学高校生徒

はぴ☆ボラ　～中高生のためのボランティア活動プログラム～

- 中高生が地域で必要とされることでやりがいを感じ、地域の一員としてどんなことができるかを考える機会をつくることを目的に、地域活動においてボランティア活動を体験する「はぴ☆ボラ」を実施しています。

大学と連携した取組　～市立看護大学・専修大学～

- 区民の健康づくりと、大学がめざす地域包括ケアシステムに資する看護師養成の取組が連携し、区民が看護学生の授業に「模擬患者」として参加・協力する養成講座を実施しています。
- 専修大学学生が授業の一環で、区のPR動画を作成しています。区長賞作品はYouTube等で放映され、区のPRに一役買っています。

小学生向けの地域のイベントでボランティアスタッフとして参加する中高生

★市民の想い、メッセージ

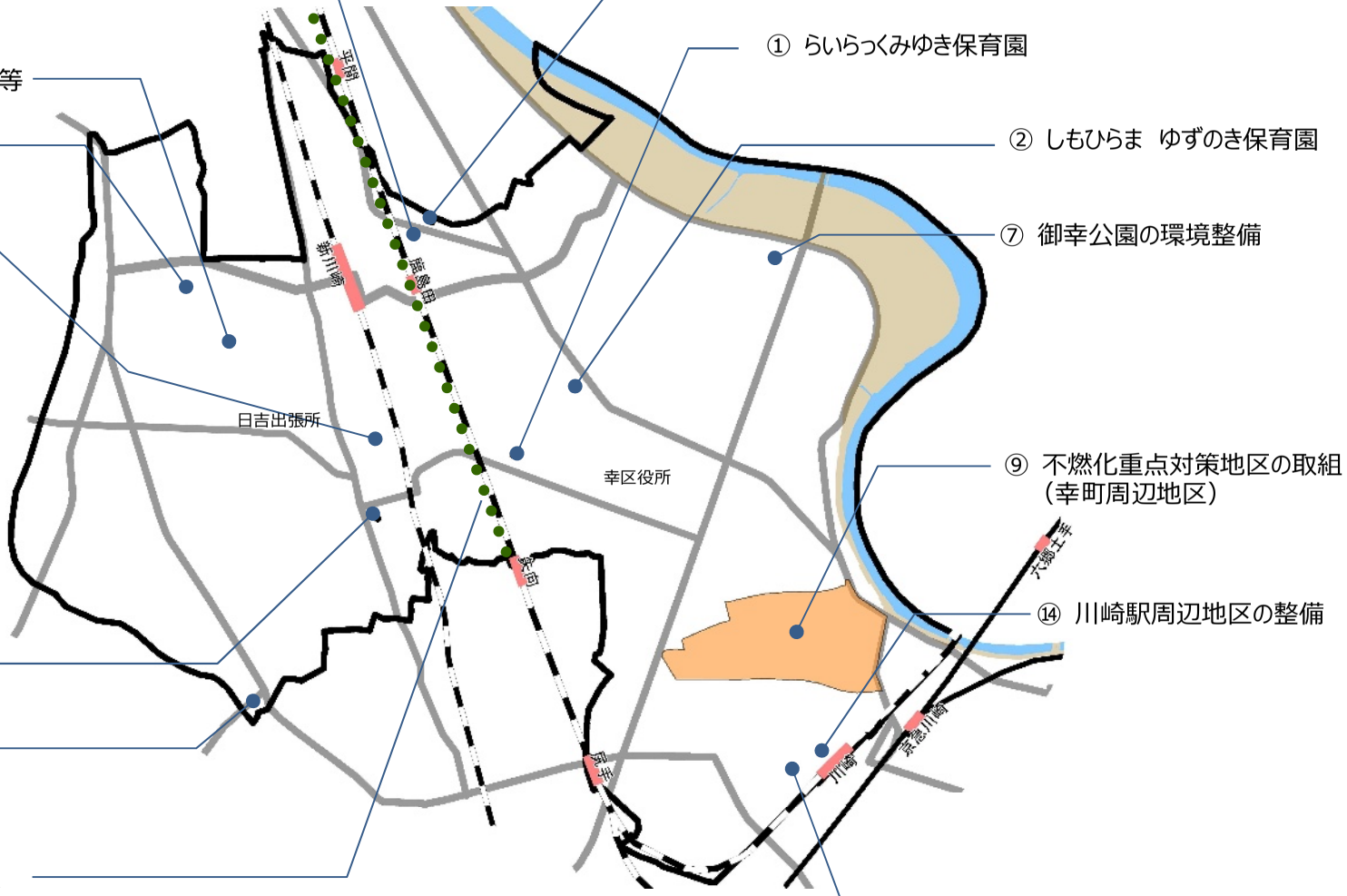
- 区と連携することで、普段関わらない地域の人と関わるなど貴重な経験が出来ました。（幸探究・幸高等学校生徒）
- 自分の作品が区役所制作のカレンダーに活用されるとのことで、多くの人たちに梅のきれいさや美しさを伝えられればと思っています。（梅香カレンダー製作者・川崎総合科学高等学校生徒）

幸区マップ

凡例
施設整備等
そ の 他

⑩ こども家庭センターの改修
③ かしまだ保育園
① らいらっくみゆき保育園
⑧ 夢見ヶ崎動物公園の施設整備等
② しもひらま ゆずのき保育園
④ 障害福祉サービス事業所 つくし（建替え）
⑦ 御幸公園の環境整備
⑫ 新川崎・創造のもり
⑨ 不燃化重点対策地区の取組（幸町周辺地区）
⑭ 川崎駅周辺地区の整備
⑬ 新川崎地区の小学校新設
⑤ 末吉橋の整備
⑥ JR 南武線連続立体交差事業
⑪ 南武線沿線のまちづくり
⑮ ミューザ川崎シンフォニーホールの大規模修繕

産学交流・研究開発施設(AIRBIC)



区のマップとの対応表

福祉施設

名称	開所予定	定員	MAP 番号
らいらっくみゆき保育園	R4(2022)年度	120 人	①
しもひらま ゆずのき保育園	R4(2022)年度	60 人	②
かしまだ保育園	R4(2022)年度	155 人	③
障害福祉サービス事業所 つくし（建替え）	R4(2022)年度	生活介護 40 人	④

道路・公園

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
末吉橋の整備	橋りょうの架替	R10(2028)年度完成予定	⑤
JR 南武線 連続立体交差事業	矢向駅～武蔵小杉駅間の連続立体交差化	事業推進	⑥
御幸公園の環境整備	区民との協働による植樹等の取組や公園内の散策路等の整備	事業推進	⑦
夢見ヶ崎動物公園の施設整備等	公園内の施設整備等	事業推進	⑧

その他

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
不燃化重点対策地区の取組（幸町周辺地区）	老朽木造住宅等が密集している幸町周辺地区における災害に強い住環境形成の推進	事業推進	⑨
こども家庭センターの改修	施設狭あい解消のための整備	R5(2023)年度 供用開始	⑩
南武線沿線のまちづくり	JR 南武線連続立体交差事業や沿線土地利用転換の機会を捉えた戦略的かつ機動的な誘導による駅を中心とした魅力あるまちづくりの推進	事業推進	⑪
新川崎・創造のもり	産学交流・研究開発施設（AIRBIC）を拠点としたオープンイノベーションの推進	事業推進	⑫
新川崎地区の小学校新設	児童数の増加に対応した小学校の新設	R5(2023)年度着手 R6(2024)年度完成 R7(2025)年度開校	⑬
川崎駅周辺地区の整備	川崎駅西口大宮町地区施設整備活用等	R4(2022)年度完了	⑭
ミューザ川崎シンフォニーホールの大規模修繕	次期大規模修繕の検討・実施	事業推進	⑮

幸 区

地域の課題解決に向けた取組の一覧		事業名 （〇は本計画で「計画期間の主な取組」として掲載している事業）
地域資源を活かしたまちづくりの推進		
	〇	御幸公園梅香事業
	〇	花と緑のさいわい事業
	〇	さいわい音楽推進事業
		さいわいものづくり体験事業
		地域の魅力発信事業
		地域資源を活かしたまちづくり事業
		さいわい・はじめようエコ事業
		さいわいガイドマップ発行事業
健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進		
	〇	地域包括ケアシステム推進事業
	〇	健康づくり推進事業
		地域の保健福祉情報発信事業
		さいわい動物愛護推進事業
安心して子育てできるまちづくりの推進		
	〇	総合的なこども支援ネットワーク事業
	〇	こども･子育て支援事業
		保育所等活用事業
		幸区こども学習サポート事業
		児童虐待防止・こども相談支援事業
		幸区待機児童対策事業
地域コミュニティ活性化の推進		
	〇	地域コミュニティ推進事業
	〇	スポーツ推進事業
		市民活動等支援事業
		幸区多文化共生推進事業
		市民館コミュニティ推進事業
		区民祭開催経費
安全で安心に暮らせるまちづくりの推進		
	〇	幸区災害対策推進事業
	〇	交通安全普及啓発事業
		地域防災活動推進事業
		安全・安心まちづくり普及啓発事業
区役所サービス向上事業		
		区民に身近な区役所づくり推進事業
		さいわい区民アンケート事業
地域課題対応その他事業		
		幸区提案型協働推進事業
		その他経費
区の新たな課題即応事業		
		区の新たな課題即応事業

中原区

■人口 263,922 人　■世帯数 135,782 世帯
■面積 14.81 km^2　（令和４（2022）年３月１日現在）

中原区の花　「パンジー」　中原区の木　「モモ」

1 中原区の概要

- 中原区は、本市のほぼ中央に位置しており、中原御殿（平塚市）と江戸を結ぶ中原街道の中継地としての仮御殿が小杉にあったことから中原区と名づけられました。区域の大部分は平坦な地形が広がっており、住宅地に点在する生産緑地には区の花パンジーなどを栽培する風景も見られ、横浜市と接する南西部の井田地区は豊かな緑の残る丘陵地となっています。東京、横浜、川崎南部地域の郊外型住宅地として都市化、商業地の形成が進み、あわせて、都心に本社機能を持つ企業を中心に生産部門が進出し、現在のまちの骨格が形成されました。近年は産業構造の転換を先取りした企業による研究・開発部門などの都市型産業が武蔵小杉駅、武蔵中原駅、向河原駅周辺を中心に立地しています。
- 武蔵小杉駅周辺では大規模な再開発事業が展開されており、都市型住宅の建設が引き続き進んでいます。また、近年大規模な商業施設の開業が相次いでおり、多くの方が訪れています。
- 駅周辺の開発により近年の人口増加は著しく、平成 31（2019）年４月には、昭和 57（1982）年に７区に分区して以降、川崎市内の区として初めて人口が 26 万人を超え、今後も更なる人口増加が見込まれており、人口、世帯数ともに市内で最も多い区となっています。また、生産年齢人口の割合が７区で最も高く、老年人口（65 歳以上）の割合は最も低いため、区民の平均年齢は最も低くなっています。出生数及び市外からの転入者数が７区で最も多く、転入者の約７割を 20～30 歳代が占めており、中原区で新たに生活を始める子育て世帯も増えています。

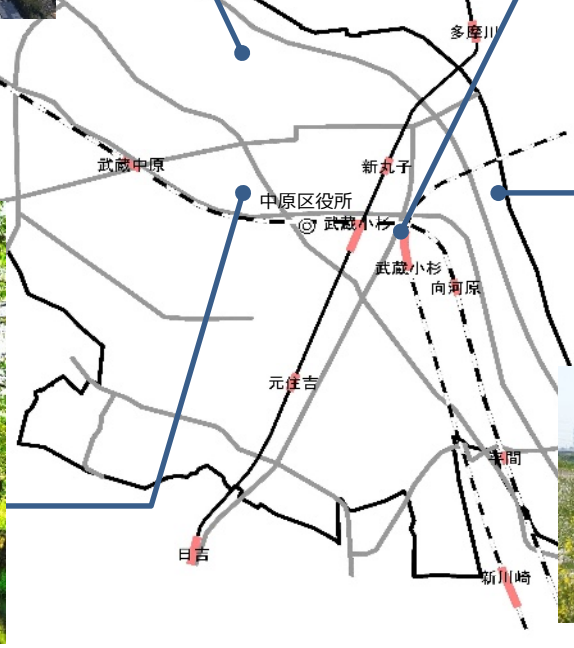
中原区の主な地域資源・魅力など

等々力緑地

武蔵小杉駅周辺

二ヶ領用水

多摩川



2 まちづくりの方向性

水と緑と笑顔が出会い　未来につなぐ　住み続けたいまち　なかはら

- 中原区は、等々力緑地、多摩川沿いの緑や二ヶ領用水の水辺、井田山などの自然に恵まれるとともに、都心への交通利便性に優れており、武蔵小杉駅周辺は、都市型住宅が立ち並び、商業も賑わう、生活利便性が高く都市機能が集約されたコンパクトなまちです。
- 街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人とのつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めます。

3 これまでの主な取組状況

●地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進

武蔵小杉駅周辺の再開発等によるまちの変化に対応しながら、地域が主体となるまちづくりを進めるとともに、地域の賑わい・交流創出に向けたしくみづくりに取り組んでいます。

また、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、新しい生活様式を踏まえた地域交流の促進や、区のイメージアップをめざして、市民活動の支援、地域メディアが連携した情報発信の取組などを行っています。

●安全・安心なまちづくりの推進

防災に関わる情報の共有に加え、自助・共助（互助）を基本として地域防災力強化の担い手を育成するとともに、「武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画」に基づき、感染症等への対策を考慮した帰宅困難者対策の取組など、地域特性を踏まえた防災対策に取り組んでいます。

また、地域における防犯活動の支援や、交通安全教室の開催等を通じた交通事故の防止に取り組んでいます。

●人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化

高齢化の進行を見据え、地域主体の見守り・支え合いの取組支援、健康づくりや介護予防などに関する情報発信、さらにそれを支える多様な主体のネットワーク構築による連携強化等に取り組んでいます。

また、すべての地域住民を対象とした地域包括ケアシステムの実現のため、地域のさまざまな主体による人と人とをつなげる交流の場づくりや、それを支える活動の担い手づくり、支援を必要としている人が的確に支援を受けられる取組など地域の主体的な取組の支援を行っています。

●区民と協働したこども支援の推進

区民が主体的に運営する子育てサロンなど、地域の自主的な活動を継続して支援するとともに、さまざまな情報ツールによる効果的な子育て情報の発信、新たな担い手づくりのための子育て支援者の養成等に取り組んでいます。

●スポーツ・文化資源・緑などの地域資源を活用したまちづくりの推進

「かわさきスポーツパートナー」や地域のスポーツ団体などと連携し、地域でスポーツに親しむ機会を増やすとともに、区内にある文化資源や緑を活かして地域間・世代間交流を深め、元気とうるおいのあるまちづくりを進めています。

●区役所サービスの環境改善

今後も人口増加が見込まれ、行政需要の増加が想定される区役所サービスについて、窓口混雑期の対応や待合スペースの環境改善などを図ることで、更なる区役所サービスの向上を進めています。

4 現状と課題

●武蔵小杉駅周辺の再開発による住民の増加や近年のコミュニティの課題に対応するため、区民とともに進めるまちづくりが求められています。

- 区内全域で住宅開発が進み、ここ 10 年間での人口増加率が 10.0%と市平均を越えており、新たな区民が増え続けています。特に武蔵小杉駅周辺では、大規模な再開発に伴う高層マンションの建設によって人口増が顕著であり、武蔵小杉駅周辺全体の将来像を見据えた、持続可能なコミュニティづくりを進める必要があります。

  また、新型コロナウイルス感染症の影響によりテレワークなど働き方が変化する中、武蔵小杉駅周辺では日中の滞在人口も増加しており、今後の居住志向の変化も見据えながら、これからも、住みたい、住み続けたいと感じられるまちづくりをさらに進めていく必要があります。

武蔵小杉駅付近の市道を
フィールドとした社会実験の様子

近年地域コミュニティの課題として、身近な交流や活動の場の不足、互助の必要性の高まり、高齢化、町内会等の住民自治組織を取り巻く環境の変化といったことが挙げられています。こうした課題に対応するため、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく、市民創発によるまちづくりが進められています。

●災害対策、防犯、交通安全など、安全・安心への対策が求められています。

- 戸建や大規模マンションなど住居の多様性、人口増や企業・商業施設の集積、多数の利用者を有する駅の存在や多摩川などの自然環境を踏まえ、区内で発生が想定されるさまざまな災害への的確な対応が必要となります。令和元年東日本台風での浸水被害後に調査した令和２（2020）年度区民アンケートでは、今後、特に力を入れてほしい区役所の業務として、「地震や風水害への対策」が最も高い結果（59.9%）となる一方、地域で行われる防災訓練や避難訓練に参加したことがないとの回答が７割を超えており（73.2%）、日頃からの災害に対する備えや、発災時の対策が求められています。

  また、区内の人身交通事故に占める自転車交通事故の割合が高いことから、自転車交通ルールを守る意識の啓発が求められています。

●いつまでも自分らしく暮らしていくために、地域での支え合いが必要になっています。

- 令和２（2020）年10月１日現在の老年人口（65歳以上）の割合は、７区で最も低い15.3%となっているものの、将来人口推計によると、令和32（2050）年頃には25%に迫ることから、高齢化の進行を見据え、新しい生活様式も踏まえながら、介護予防や健康寿命の延伸に向けた取組のほか、ひとり暮らし高齢者の増加を踏まえ孤立防止などにも引き続き取り組んでいく必要があります。

  また、地域包括ケアシステムが掲げる、「誰もが住み慣れた地域や自らの望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現」を目的として、活動の担い手の育成、支援が必要な人が的確に支援を受けられる取組、地域全体での見守りや支え合いのしくみづくりなど、自助・互助の取組をさらに推進する必要があります。

健康づくりのためのご当地体操
なかはらパンジー体操

●身近な地域で子育て世帯を支えるしくみの充実が必要です。

- 令和２（2020）年 10 月１日現在、中原区の年少人口（０～14 歳）は 34,081 人と７区で最も多い中、今後の人口動態を踏まえて、想定されている保育ニーズの変化への対応や、子ども・子育て支援が引き続き必要です。

  また、令和２（2020）年度区民アンケートでは、子育て支援サービスを利用したことはないとの回答が５割近く（48.6%）となるなど、慣れない土地での孤立感や、育児に対する不安・悩みを抱えた子育て家庭を、新しい生活様式を踏まえながらも、よりサービスを利用しやすいよう、身近な地域で支え合う必要があります。

子育て世代の交流の場「子育てサロン」

●地域のさまざまな魅力を活かしたまちづくりが進められています。

- 区内には二ヶ領用水、井田山の緑地、下小田中の農地などの豊かな自然環境や中原街道沿いの歴史ある文化資源などが残っているほか、等々力緑地には陸上競技場、野球場、アリーナなどがあります。また、中原区を拠点とするサッカー、バスケットボール、バレーボールのプロスポーツチームが活躍しています。このような地域の魅力的な資源を活かした取組をさらに進めていく必要があります。

令和２年にリニューアルされた等々力球場

●人口の増加等に対応した区役所サービスが求められています。

- 令和２（2020）年度区民アンケートでは、窓口のプライバシーへの配慮や衛生環境への満足度が前回調査に比べて増加している一方、待合スペースの広さについては、不満との声が寄せられています。待合スペースの木質化や待ち時間の短縮の工夫など、これまでも改善に取り組んできたところですが、人口増に伴って引き続き多くの方が利用する区役所庁舎において、より安全で快適な環境を提供するとともに、区役所サービスの更なる向上や改善を行う必要があります。

木質化された区役所１階スペース

中原区子育てイメージキャラクター
ミミ・ケロ

なかはらエコ推進大使
ロジーちゃん

5 計画期間の主な取組

地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進

主な取組の方向性

- 再開発等により変化の著しい武蔵小杉駅周辺における地域主体のまちづくりの推進
- 区のイメージアップ及び地元への愛着醸成に向けた地域メディアとの連携による情報発信の推進
- 市民活動団体の活動支援及び交流促進による地域の活性化の推進

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
小杉駅周辺の新たなコミュニティ推進事業 武蔵小杉駅周辺地域の住民や企業との共創による取組や場づくりを通じ、当地域の魅力と愛着を高めます。		**●小杉駅周辺の魅力づくりに向けた取組の推進**			
		・企業・住民との共創による愛着づくりの取組の推進	継続実施 →	→	→
		●公共空間の活用のための取組の検討・推進			
		○官民連携による公共空間の利活用、維持管理の促進と、地域住民の利活用の促進			
		・こすぎコアパーク等における社会実験の実施	→	・社会実験を踏まえた取組の推進	→
		・地域住民の利活用の機会創出	継続実施 →	→	→
中原区広報・広聴推進事業 地域メディア等と連携しながら、区の魅力発信などの充実に取り組みます。		**●効果的な地域情報の発信に向けた取組の実施**			
		・なかはらメディアネットワーク（NMN）との連携 R2NMNと連携した地域情報の発信：42件	NMNと連携した地域情報の発信：42件以上	NMNと連携した地域情報の発信：42件以上	NMNと連携した地域情報の発信：42件以上
		●区民アンケートの実施及び分析			
		・R1実施	・アンケートの実施、結果の分析	・実施結果に基づく改善	・アンケートの実施、結果の分析	・実施結果に基づく改善
市民活動活性化事業 地域活動団体の交流の促進及び活動の支援により、地域の活性化を推進します。		**●活動拠点の提供など区民との協働による活動活性化のための支援**			
		・中原区民交流センター「なかはらっぱ」の運営	継続実施 →	→	→
		●地域活動団体間の交流の促進			
		・「なかはらっぱ祭り」の開催（１回）	継続実施 →	→	→

なかはらメディアネットワークでの地域情報発信
（かわさきＦＭ「Ｅｎｊｏｙ★なかはら」収録の様子）

「なかはらっぱ祭り」

安全・安心なまちづくりの推進

主な取組の方向性

- ●自助・共助（互助）・公助の考え方に基づく、区民、企業、行政等が連携した防災対策の推進
- ●区民、地域団体、行政等の連携による地域の防犯力及び防犯意識の向上

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
地域防災力強化事業 自助・共助（互助）・公助の考え方に基づき、区民、企業、行政等が連携して防災対策に取り組みます。	**●自助・共助（互助）による地域防災力の強化に向けた取組の推進**				
	避難所運営会議の自主運営に向けた支援：29回 ・自主防災組織の活動支援 ・中原区総合防災マップの配布	避難所運営会議の自主運営に向けた支援：29回 ・自主防災組織の設立・活動支援 ・改訂版中原区総合防災マップの検討	避難所運営会議の自主運営に向けた支援：29回 ・改訂版中原区総合防災マップの作成、配布	避難所運営会議の自主運営に向けた支援：29回 ・転入者等への配布	避難所運営会議の自主運営に向けた支援：29回
		感染症対策を前提とした避難所訓練の実施：29回以上 ・区災害対策本部の強化に向けた職員研修の充実	感染症対策を前提とした避難所訓練の実施：29回以上	感染症対策を前提とした避難所訓練の実施：29回以上	感染症対策を前提とした避難所訓練の実施：29回以上
	●中原区総合防災訓練の実施				
	実施回数：1回（動画配信）	感染症対策を考慮した新たな手法による訓練の実施：2回 ・区民や関係機関との連携による地域特性に応じた実践的な訓練の実施	感染症対策を考慮した新たな手法による訓練の実施：2回	感染症対策を考慮した新たな手法による訓練の実施：2回	感染症対策を考慮した新たな手法による訓練の実施：2回
	●中原区の特性を踏まえた各種訓練の実施				
	情報受伝達・開設訓練：1回	情報受伝達・開設訓練：1回以上	情報受伝達・開設訓練：1回以上	情報受伝達・開設訓練：1回以上	情報受伝達・開設訓練：1回以上
中原区安全・安心まちづくり推進事業 区民、地域団体、行政等が連携して地域の防犯力及び防犯意識の向上を図ります。	**●地域の防犯力・防犯意識の向上**				
	・防犯資機材の貸与等 防犯パトロール実践講座：3回	継続実施 防犯パトロール実践講座：5回以上	防犯パトロール実践講座：5回以上	防犯パトロール実践講座：5回以上	防犯パトロール実践講座：5回以上

中原区総合防災訓練

防犯パトロールの取組

人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化

主な取組の方向性

●子ども、高齢者、障害者等すべての地域住民が安心して地域で暮らし続けることができる、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進

●福祉・健康に関する各種団体間の交流促進による地域福祉のネットワークの拡大

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
中原区地域包括ケアシステム推進事業 「地域包括支援ネットワーク」の構築を推進し、保健・医療・介護・福祉等さまざまな社会資源が有機的に連携できるよう環境整備を図ります。また、地域包括ケアシステムの情報発信や普及啓発を通じて、子ども、高齢者、障害者等すべての地域住民が安心して地域で暮らし続けられるよう取組を進めます。	**●さまざまな主体の参加による地域包括ネットワークの構築** ○地域課題の把握、地域づくり・地域活動を行う人材の発掘・育成、個別課題に対する支援 ・地域ケア会議に対する支援	継続実施 →			
	●5地区の実情に合わせた地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進 ○地域の実情に合わせた地域包括ケアシステムに関する情報の発信、情報共有の推進 ・地域の実情に合わせた情報の提供	継続実施 →			
	○中原区地区カルテの活用・検証・改定 ・中原区地区カルテの活用・検証・改定	継続実施 →			
	○地域包括ケアシステムの推進に関する地域での対話の機会創出、地域課題解決の取組推進 ・地域の中での対話の機会の創出	継続実施 →			
	・高齢者見守り、生活援助等、自助・互助につながる地域の主体的な取組への支援	継続実施 →			
	●地域包括ケアシステムの推進に向けた普及啓発の実施 在宅療養に関するリーフレットの配布や啓発活動の実施	継続実施 →			
中原区地域交流活性化事業 地域の交流の場や活動などの情報を提供し、高齢者の外出や社会的交流を促進します。	**●高齢者の地域交流活性化に向けた取組の実施** ・中原区シニアのためのおでかけマップの作成、配布	継続実施 →			
なかはら福祉健康まつり実施事業 福祉・健康に関する各種団体間の交流を図り、地域福祉のネットワークの拡大をめざします。	**●なかはら福祉健康まつりの開催** 開催：0回（R1：1回）	開催：１回	開催：１回	開催：１回	開催：１回
	●参加団体同士の交流促進 ・関係団体の交流促進支援	継続実施 →			
	●障害者理解の促進 ・イベント・展示の実施	継続実施 →			

区民と協働したこども支援の推進

主な取組の方向性

●地域の特性を生かした子育てサロン等の運営の支援

●子育て世代へ向けた、さまざまな情報ツールを活用した情報の発信

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
中原区子育て支援推進事業 親子の孤立を防ぎ、子育て中の不安を軽減するために、地域の特性を活かした子育てサロン等の運営を支援します。	**●子育て世代の仲間づくりやコミュニケーション活動等の支援** ○民生委員児童委員などによる子育てサロンの運営支援				
	子育てサロン：15か所	子育てサロン：15か所	子育てサロン：15か所	子育てサロン：15か所	子育てサロン：15か所
	○地域のボランティアにより実施される子育てふれあい広場の運営支援				
	ふれあい広場：3か所	ふれあい広場：3か所	ふれあい広場：3か所	ふれあい広場：3か所	ふれあい広場：3か所
	○中原区子育て支援推進実行委員会全体会の開催				
	中原区子育て支援推進実行委員会全体会：２回	開催回数：２回	開催回数：２回	開催回数：２回	開催回数：２回
子育て情報発信事業 子育て世代へ向けて、さまざまな情報ツールを活用した情報発信を行います。	**●多様な情報ツールを活用した子育て情報の発信** ○ホームページやSNSなどによる広報の実施				
	・新たな情報ツールによる広報の実施	継続実施 →			
	○子育て情報ガイドブック「このゆびと～まれ！」の作成・配布				
	・子育てガイドブックの作成、配布	継続実施 →			
	○武蔵小杉駅周辺の大型商業施設への広報物の配架				
	・大型商業施設への広報物の配架	継続実施 →			
子育て支援者養成事業 子育て支援の場を支える新たなボランティアを養成し、地域全体で子育てを応援していく体制づくりを行います。	**●地域全体で子育てを応援していく体制づくりの推進** ○子育て支援に関心のある人を対象とした子育て支援者養成講座の開催				
	子育て支援者養成講座：１回	養成講座：１回以上	養成講座：１回以上	養成講座：１回以上	養成講座：１回以上
	●養成講座修了者への支援の実施 ○ボランティア団体との交流・連携による活動先とのマッチング機会の確保やフォローアップ				
	・活動団体等とのマッチング機会の確保及びフォローアップ	継続実施 →			

地域の子育てボランティアとして活動する
子育て支援者養成講座修了者

区で発行する子育てに関する情報紙

スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進

主な取組の方向性

●かわさきスポーツパートナーとの連携による交流機会の創出及び地域活性化の推進

●花や緑を活用した、住み続けたいと思うまちづくりの推進

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
スポーツを通じた地域活性化推進事業 かわさきスポーツパートナーとの連携による事業等により、交流機会を創出し、地域の活性化を図ります。		**●かわさきスポーツパートナーとの連携による事業の実施** ○親子サッカー・バレーボール・バスケットボール教室、アメフット・フラッグフット普及啓発等の実施			
	・教室事業を各1回、アメフットなど普及啓発の実施	継続実施 →			
		●スポーツを通じた地域の交流機会の創出			
	・総合型地域スポーツクラブの活動広報の実施	継続実施 →			
		●かわさきパラムーブメントの推進 ○各種イベントでの障害者スポーツ体験などによるかわさきパラムーブメントの取組の実施			
	・パラムーブメントの取組の実施	継続実施 →			
区民の手で花いっぱい中原事業 花と緑を活用した協働事業によりまちの魅力向上を図ります。		**●植栽管理や花植体験等の実施**			
	・ボランティアとの協働による公共花壇植栽維持管理（５か所）	継続実施 →			

区役所サービスの環境改善

主な取組の方向性

●「区役所サービス向上指針」に基づく、より質の高いサービス提供に向けた窓口環境の改善等の推進

●区役所サービス向上に向けた庁舎及び敷地の有効活用の推進

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
区役所サービス向上事業 「区役所サービス向上指針」に基づき、より質の高いサービス提供に向け窓口環境改善等を進めます。		**●行政需要の増加等に対応した区役所サービスの提供**			
	職員研修：2回 サービス向上委員会等：4回	職員研修：２回 サービス向上委員会等：４回	職員研修：２回 サービス向上委員会等：４回	職員研修：２回 サービス向上委員会等：４回	職員研修：２回 サービス向上委員会等：４回
区役所混雑緩和・環境向上事業 庁舎や敷地の有効活用を進め、区役所の混雑緩和や利用者へのサービス向上を進めます。		**●行政需要の増加等に対応した区役所サービスの提供** ○中原区業務改善・庁舎レイアウト検討委員会の開催及び検討結果に基づく取組などの実施			
	・委員会検討に基づく取組実施	・委員会開催、検討に基づく取組実施 →			
	・職員提案制度の実施	継続実施 →			
	・区役所敷地の有効活用に向けた検討	継続実施 →			

区における地域の課題解決に向けたその他の取組

区名	取組の柱	事業名	概要	現状	事業内容・目標			
				令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
中原区								
	地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進							
		まちづくり推進実践活動事業	人材の発掘や企業との連携、マッチング等により、地域課題の解決を図るための環境づくりを推進します。	●企業や地域団体と協働・連携したイベントの開催 ●まちづくり情報の広報				
		商店街と連携した地域のまちづくり推進事業	商店街を地域の情報交換や交流の場として活用し、地域交流を促進します。	●商店街と連携した各種教室及び地域交流イベントの実施				
		区民祭開催経費	区内企業及び各種団体等と連携し、“心のふれあう　ふるさと中原”をテーマに区民祭を実施します。	●区民祭の開催				
	安全・安心なまちづくりの推進							
		中原区ガイドマップ（安心マップ）作成事業	転入者にガイドマップを配布することにより、災害時に有用な情報や区の基本情報等を転入後速やかに把握してもらい、区民生活の利便性の向上と安全・安心のまちづくりを推進します。	●「中原区ガイドマップ」の作成・配布				
		案内サイン情報更新事業	武蔵小杉駅周辺の再開発事業などの進捗に合わせ、表示内容の更新や、多言語表示を推進します。	●盤面表示内容の検証・更新				
		中原区放置自転車対策事業	自転車利用者のモラルやマナーの向上を図るため啓発活動等を行います。	●自転車利用者のモラルやマナーの向上のため啓発活動等の実施				
		交通安全教室開催事業	区民を対象にスケアードストレート方式による交通安全教室を開催し、安全な自転車の乗り方等のルール・マナーを習得してもらうなど、交通事故防止に取り組みます。	●スケアードストレート方式の交通安全教室の実施 ●幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象とした各種交通安全教室の実施				
	区民と協働したこども支援の推進							
		中原区総合子どもネットワーク事業	子ども・子育て支援を推進するとともに、関係団体・機関による情報交換、相互協力等によるネットワークを構築することで、子どものすこやかな成長を促すための環境整備やしくみづくりを推進します。	●子ども・子育て支援に関する団体等によるネットワーク会議、交流会などの実施 ●子育て情報の発信 ●「なかはら子ども未来フェスタ」などの実施				
		中原区子どもの発達支援事業	子どもの発達支援に関わる業務や活動を行っている機関や団体が、課題を共有するために検討会を開催します。また、保護者向けセミナーを開催します。	●発達支援検討会・保護者向けセミナーの実施				
		中原区地域子育て支援事業	育児負担の大きい多胎児育児の支援のために交流会や親子の集いを開催します。	●多胎児支援のための交流会、多胎児親子の集いの実施				

区名	取組の柱	事業名	概要	現状	事業内容・目標			
				令和３（2021）年度	令和４（2022）年度	令和５（2023）年度	令和６（2024）年度	令和７（2025）年度
	スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進							
		環境まちづくり支援事業	SDGsを踏まえながら、学校・企業・地域等と連携した啓発事業などを実施し、地球温暖化防止に係る地域活動の普及・啓発を行います。	●「エコ暮らしこフェア」の実施 ●区内企業、市民団体や小学校と連携した「子ども環境事業」の実施 ●環境を切り口としたSDGs推進イベントの実施				
		中原スポーツまつり開催事業	スポーツ推進委員会、青少年指導員連絡協議会、子ども会、町内会等が中心になって、年齢を問わず、誰でも簡単にできるスポーツの体験会を実施します。	●スポーツ大会の実施				
		中原区体育及びスポーツ振興事業	各種スポーツ行事に対し区長杯を製作、贈呈することで、スポーツを通した地域の活性化を図ります。	●区長杯の贈呈によるスポーツ振興の推進				
		中原区民多摩川ロードレース「マイペース大会」開催事業	マラソン大会を実施することで、区民の健康増進を図るとともに、健康マラソンの普及を図ります。	●中原区民多摩川ロードレース「マイペース大会」の実施				
		中原区青少年吹奏楽コンサート事業	音楽を通じた青少年の育成、地域間・世代間の交流のため区内すべての中学校・高等学校による吹奏楽コンサートを実施します。	●青少年吹奏楽コンサートの開催				
		中原区役所コンサート開催事業	ランチタイムにクラシック等のコンサートを実施することで、「音楽のまちづくり」を推進します。	●中原区役所コンサートの実施				
		In Unity開催事業	音楽をきっかけとした地域間・世代間の交流を推進するため、アマチュアミュージシャンやダンスグループなどによる音楽ライブを開催します。	●音楽ライブ「In Unity」の開催 ●「In Unity」のPRイベントの実施				
		歴史と緑を活用したまちの魅力発信事業	「なかはら歴史と緑の散策マップ」を作成するとともに、マップや散策案内板を活用し、区民と協働でまち歩きや講座を実施します。	●「なかはら歴史と緑の散策マップ」の作成 ●「なかはら歴史と緑の散策マップ」を活用した講座の実施				
	地域課題対応その他事業							
		中原区市民提案型事業	市民活動団体等から事業提案を募集し、市が進める協働型事業のルールに基づき、提案団体等と行政が協働で課題解決に向けた取組を実施します。	●市民活動団体等の提案による中原区の課題解決に向けた取組の実施				
		地域課題対応事業一般経費	地域課題対応事業全般の執行に必要な事務用品の購入、複写品費、郵送などの経費支出を行い、円滑な事業推進を図ります。	●地域課題対応事業全般の円滑な事業推進				
		中原区制50周年記念事業	令和４年４月に迎える区制50周年を区民に、より地域への愛着を持ってもらうため、記念事業を実施します。	●なかはら世紀越え記念カプセル開封イベントの実施 ●区制50周年記念関連事業の実施 ●区制50周年記念広報事業				
	区の新たな課題即応事業							
		区の新たな課題即応事業	年度途中に発生する新たな課題に、適切かつ迅速に対応し、課題解決を図ります。	●新たに発生する課題への適切・迅速な対応に向けた取組の実施				

中原区における特徴あるまちづくりの取組

中原区で展開されている市民生活を支える事業のうち、区計画に記載されている事業（地域課題対応事業）以外の事業に関連した、区の特徴的な取組を紹介します。

●小杉駅周辺地区整備事業

小杉駅周辺地区においては、公共公益施設の整備にあわせ地区幹線道路等を一体的に整備した「小杉町３丁目東地区市街地再開発事業」が令和２（2020）年度に完了するなど、多様な都市機能がコンパクトに集積した、歩いて暮らせるまちづくりを推進しています。今後も、民間開発の適切な誘導と支援により、多様な都市機能などがコンパクトに集約し、持続可能な魅力にあふれる都市拠点の形成を推進していきます。

【政策体系別計画 P 399：施策 4-5-1　小杉駅周辺地区整備事業】

【中原区役所における関連した取組】

- 小杉駅周辺の新たなコミュニティ推進のため、企業・地域団体のエリアプラットフォームの構築や、こすぎコアパークなど公共空間の利活用に向けた社会実験を行っています。今後も企業・区民連携により地域への愛着づくり・魅力向上に取り組みます。

●等々力緑地再編整備事業

等々力緑地については、「等々力緑地再編整備実施計画」に基づき、緑地全体の再編整備に向けた取組を進めています。第３期実施計画においても、社会環境の変化による新たな課題等に対応し、安全・安心で魅力あふれる公園の実現に向けて、民間活力を導入した再編整備を推進します。

【政策体系別計画 P 324：施策 3-3-2　等々力緑地再編整備事業】

富士通レッドウェーブのバスケットボール教室

【中原区役所における関連した取組】

- 陸上競技場、アリーナなどが立地する等々力緑地では、かわさきスポーツパートナーがホームとして活動しています。中原区ではかわさきスポーツパートナーの拠点としての特色を生かし、各種教室・体験会などを行っています。今後も再編により整備される施設等を活用し、自然、文化、スポーツの拠点として更なる区の魅力発信に取り組みます。

●区役所サービス向上事業、戸籍住民サービス事業

区役所窓口のサービス向上に向け、区役所サービス向上指針評価・研修を実施するなど市民の声を踏まえた、満足度が高い区役所をめざした取組を進めています。また、令和４（2022）年１月に導入した、転入や転出の届出、各種証明書の交付申請がインターネットから事前に入力可能となるフロントシステムを活用して、今後も利便性の向上に向けた取組を推進していきます。

【政策体系別計画 P 470：施策 5-1-3　区役所サービス向上事業】
【政策体系別計画 P 471：施策 5-1-3　戸籍住民サービス事業】

オリジナル動画撮影の風景

【中原区役所における関連した取組】

- フロントシステムの導入に合わせて、転入手続を分かりやすく解説する区オリジナル動画をリニューアルしました。また、川崎フロンターレと協力したオリジナル婚姻届や、「マスクの下は笑顔です」メッセージポスターの作成など、区の魅力発信に取り組んでいます。今後も区民が来庁される機会を捉え、さまざまな角度から窓口サービスの向上等に取り組むことで、区の魅力発信や協働のパートナーである区民との信頼関係を築いていきます。

“それいいね”が広がるまちづくりに向けて

中原区で展開されている事業のうち、地域課題の解決に向けて、市民や団体等と協働・連携して行っている特徴的な取組を紹介します。

● 多様な主体とともに広げる地域交流

中原区ではさまざまな分野で活動している区民や区内の企業、商業施設、スポーツチーム等との協働により、コロナ禍での工夫から生まれた新たな手法も活用しながら、地域の魅力発信、交流の取組を行っています。

中原スポーツまつり　～スポーツを通じた地域交流～

- 中原スポーツまつりは、スポーツのニーズが多様化している時代背景を踏まえ、地域団体と行政が連携して開催するイベントで、町内会、スポーツ推進委員会、青少年指導員連絡協議会、子ども会、商店街連合会、社会福祉協議会からなる実行委員会が主催しています。
- 令和４（2022）年２月の初開催に向けて、１年以上前から構想が始まり、プロジェクトチームを立ち上げ内容を企画してきました。

ドローンにサッカーの要素を取り入れた新感覚スポーツ「ドローンサッカー」の様子

- 初回は、ドローンサッカーや e スポーツなどの非接触型の最先端スポーツからスポーツチャンバラやスカッシュなど誰でも気軽に楽しめるスポーツが体験できるイベントになりました。
- 子どもからシニアまで多世代が気軽にさまざまなスポーツを体験できるこのイベントが、今後も継続して開催され、新たな中原区の魅力として地域に定着するよう取り組んでいます。

なかはら子ども未来フェスタ
～区民・商業施設・企業とともに地域の子育てを支えます～

- なかはら子ども未来フェスタは平成 18（2006）年から続く、親子で楽しめるおまつりです。区内で子どもや子育てに関わる活動をしている団体等で構成する実行委員会で企画・運営を行っています。
- 令和元（2019）年まで区役所を会場として開催していたイベントでしたが、コロナ禍の影響により、令和２（2020）年、令和３（2021）年は小杉駅周辺の大型商業施設を会場として開催しました。
- 令和３（2021）年は感染症対策に考慮しながら、子ども達の願いが夜空に浮かぶフォトスポットの展示や子育て情報を巡るクイズラリー、親子で楽しく参加できる「手形足形クリスマスアート」などの手作りワークショップを開催しました。
- 「なかはら子ども未来フェスタ」を通じ、地域とつながりを感じて、中原区で楽しく子育てができるヒントが見つかる機会となるよう取り組んでいます。

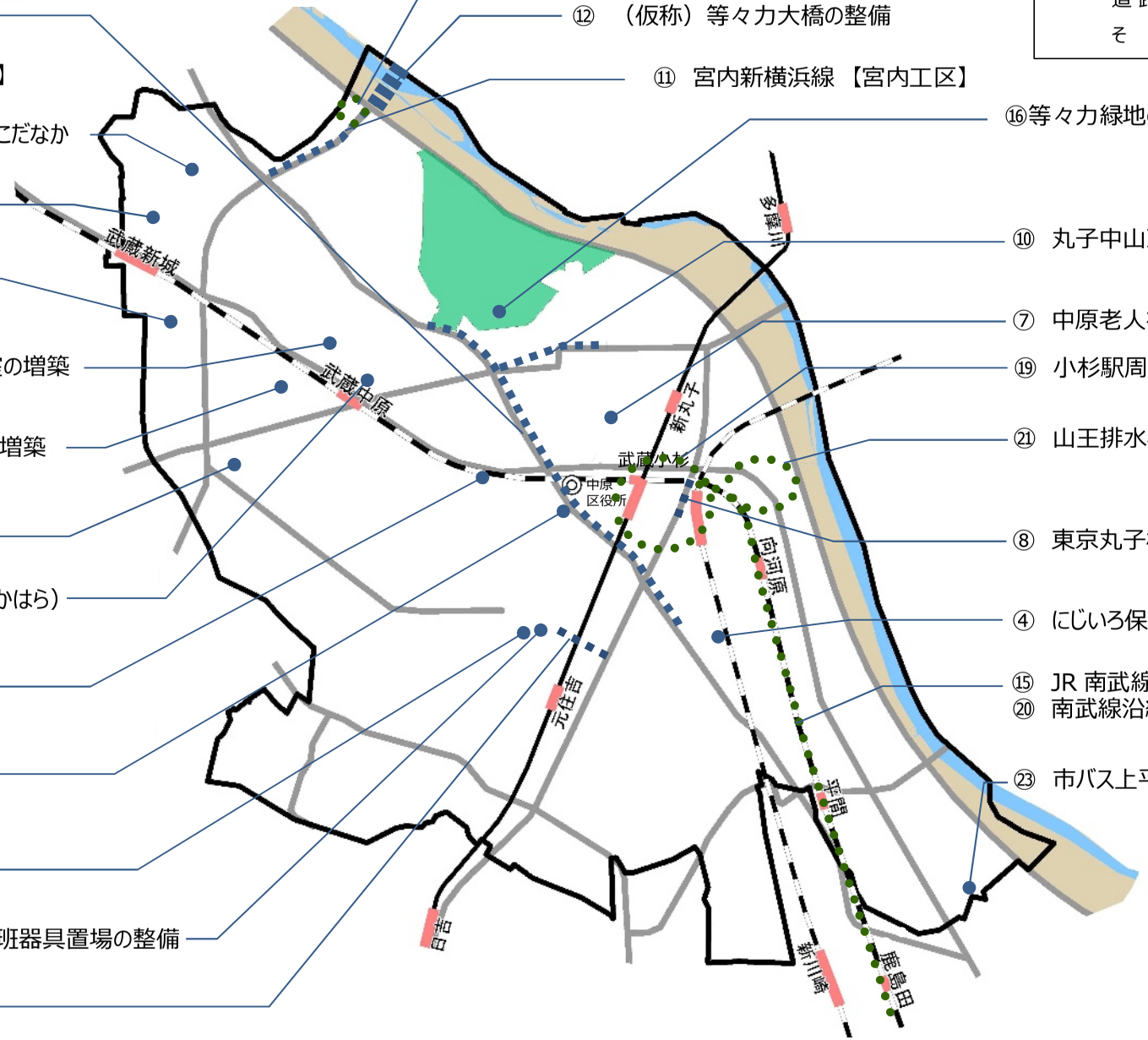
おすすめスポットマップを巡るクイズラリー

子ども達の願いを集めたフォトスポット

★ 市民の想い、メッセージ

- コロナをきっかけに従来のスポーツイベントを見直し、より区民の皆さんに楽しんでいただけるよう地域の皆さんで企画しました。（中原スポーツまつり実行委員/プロジェクトリーダー）
- 子どもが楽しく参加しながら自分のまちを知ることのできる素晴らしい取組だったと思います。週末どう過ごそうか迷っていたので催しがあって助かりました。（なかはら子ども未来フェスタ参加者）

中原区マップ



⑬⑭ 国道 409 号
【市ノ坪工区、小杉工区、
小杉御殿町Ⅰ期・Ⅱ期工区】

⑥（仮称）特別養護老人ホームこだなか

⑤ にじいろ保育園上新城

③ ヴィラ新城もりのこ保育園

㉖ 中央支援学校高等部分教室の増築

㉕ 中央支援学校大戸分教室の増築

② にじいろ保育園下新城

⑰ 総合福祉センター（エポックなかはら）
の大規模修繕

① しらゆり今井保育園

⑱ 小杉駅周辺地区の整備

㉔ 井田中学校の校舎増築

㉗ 中原消防団住吉分団住吉西班器具置場の整備

⑨ 苅宿小田中線 【Ⅲ期工区】

㉒ 宮内排水樋管周辺地域の浸水対策

⑫ （仮称）等々力大橋の整備

⑪ 宮内新横浜線 【宮内工区】

⑯等々力緑地の再編整備

⑩ 丸子中山茅ヶ崎線 【小杉御殿工区】

⑦ 中原老人福祉センター

⑲ 小杉駅周辺の交通機能強化

㉑ 山王排水樋管周辺地域の浸水対策

⑧ 東京丸子横浜線【市ノ坪工区】

④ にじいろ保育園武蔵小杉

⑮ JR 南武線連続立体交差事業
⑳ 南武線沿線のまちづくり

㉓ 市バス上平間営業所建替え整備

区のマップとの対応表

福祉施設

名称	開所予定	定員	MAP 番号
しらゆり今井保育園	R4(2022)年度	60 人	①
にじいろ保育園下新城	R4(2022)年度	60 人	②
ヴィラ新城もりのこ保育園	R4(2022)年度	40 人	③
にじいろ保育園武蔵小杉	R4(2022)年度	60 人	④
にじいろ保育園上新城	R4(2022)年度	60 人	⑤
（仮称）特別養護老人ホーム こだなか	R4(2022)年度	50 人程度	⑥
中原老人福祉センター	R８(2026)年度	–	⑦

道路・公園

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
東京丸子横浜線【市ノ坪工区】	道路拡幅	R7(2025)年度完成	⑧
苅宿小田中線【Ⅲ期工区】	道路拡幅	R7(2025)年度完成	⑨
丸子中山茅ヶ崎線【小杉御殿工区】	道路拡幅、道路新設	R7(2025)年度完成	⑩
宮内新横浜線【宮内工区】	道路新設	事業推進	⑪
（仮称）等々力大橋の整備	橋りょう整備	R7(2025)年度完成	⑫
国道 409 号【市ノ坪工区】	道路拡幅	R7(2025)年度完成	⑬
国道 409 号【小杉工区、小杉御殿町Ⅰ期・Ⅱ期工区】	道路拡幅	事業推進	⑭
JR 南武線連続立体交差事業	矢向駅～武蔵小杉駅間の連続立体交差化	事業推進	⑮
等々力緑地の再編整備	再編整備	R11(2029)年度再編整備工事完了予定	⑯

その他

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
総合福祉センター（エポックなかはら）の大規模修繕	施設長寿命化に伴う改修	R5(2023)年度完成	⑰
小杉駅周辺地区の整備	総合自治会館跡地等活用等	R4(2022)年度事業開始	⑱
小杉駅周辺の交通機能強化	駅及び駅周辺の混雑状況に対する安全性・利便性の向上	JR 横須賀線下りホーム新設 R4（2022）年度供用開始 新規改札口 R５(2023)年度供用開始	⑲
南武線沿線のまちづくり	JR 南武線連続立体交差事業や沿線土地利用転換の機会を捉えた戦略的かつ機動的な誘導による駅を中心とした魅力あるまちづくりの推進	事業推進	⑳
山王排水樋管周辺地域の浸水対策	下水道施設の整備	事業推進	㉑
宮内排水樋管周辺地域の浸水対策	下水道施設の整備	事業推進	㉒
市バス上平間営業所建替え整備	老朽化等による建替え整備	R4(2022)年度完成	㉓
井田中学校の校舎増築	校舎の増築工事	R4(2022)年度完成	㉔
中央支援学校大戸分教室の増築	校舎の増築工事	R6(2024)年度完成	㉕
中央支援学校高等部分教室の増築	校舎等の増築工事	R8(2026)年度完成	㉖
中原消防団住吉分団住吉西班器具置場の整備	消防団器具置場の改築工事	R5(2023)年度完成	㉗

地域の課題解決に向けた取組の一覧		事業名 （〇は本計画で「計画期間の主な取組」として掲載している事業）
地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進		
	〇	小杉駅周辺の新たなコミュニティ推進事業
	〇	中原区広報･広聴推進事業
	〇	市民活動活性化事業
		まちづくり推進実践活動事業
		商店街と連携した地域のまちづくり推進事業
		区民祭開催経費
安全・安心なまちづくりの推進		
	〇	地域防災力強化事業
	〇	中原区安全･安心まちづくり推進事業
		中原区ガイドマップ（安心マップ）作成事業
		案内サイン情報更新事業
		中原区放置自転車対策事業
		交通安全教室開催事業
人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化		
	〇	中原区地域包括ケアシステム推進事業
	〇	中原区地域交流活性化事業
	〇	なかはら福祉健康まつり実施事業
区民と協働したこども支援の推進		
	〇	中原区子育て支援推進事業
	〇	子育て情報発信事業
	〇	子育て支援者養成事業
		中原区総合子どもネットワーク事業
		中原区子どもの発達支援事業
		中原区地域子育て支援事業
スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進		
	〇	スポーツを通した地域活性化推進事業
	〇	区民の手で花いっぱい中原事業
		環境まちづくり支援事業
		中原スポーツまつり開催事業
		中原区体育及びスポーツ振興事業
		中原区民多摩川ロードレース「マイペース大会」開催事業
		中原区青少年吹奏楽コンサート事業
		中原区役所コンサート開催事業
		In Unity開催事業
		歴史と緑を活用したまちの魅力発信事業
区役所サービスの環境改善		
	〇	区役所サービス向上事業
	〇	区役所混雑緩和･環境改善事業
地域課題対応その他事業		
		中原区市民提案型事業
		地域課題対応事業一般経費
		中原区制50周年記念事業
区の新たな課題即応事業		
		区の新たな課題即応事業